9/3 結婚半世紀の節目祝う

阿蘇市内で 73 組が金婚表彰

金婚夫婦を代表して謝辞を述べた藏原博敏・則子夫妻

結婚50年を祝う第62回熊日金婚夫婦表彰と阿蘇市金婚式が市内のホテルで開催されました。

昭和45年に結婚した73組の夫婦が金婚を迎え、永年にわたり家族と地域を支えてこられたご夫婦に敬意を表し佐藤市長が一組ずつ表彰状を手渡しました。

昭和45年は、大阪で日本万国博覧会が行われ、北の富士、玉の海が同時に横綱に昇進しました。市内では、日本オイルシール阿蘇工場の操業や波野村の道路舗装工事が開始され、一の宮町では稚蚕共同飼育所が完成しました。

金婚夫婦氏名	行政区
小島宏揮・千賀子	（内牧4区）
中嶋信明・あさ子	（南宮原）
小嶋博之・千恵子	（湯浦）
髙宮晴夫・ミサ子	（湯浦）
前田宗一郎・正子	（西湯浦）
江藤清治・キミエ	（西小園）
小山忠男・かつ子	（宇土）
牛島慶一・ケサミ	（浜川）
井康夫・小夜美	（原の口）
佐藤今朝富・幸子	（原の口）
廣石勝之・むつ子	（山田）
井野修三・秀子	（小倉）
村上邦雄・ひろ子	（黒流町）
井嶋正志・あつみ	（今町）
河津修二・美紀代	（道尻）
佐藤和好・ひとみ	（西町）
佐藤昭廣・和代	（竹原）
坂本尚佳・悦子	（蔵原）
岩本久美男・美奈子	（東黒川）
大津一省・まさ子	（東黒川）
宮岡輝征・澄子	（東黒川）
佐藤義次・タミ子	（南黒川）
加来益男・町子	（元黒川）
若宮逸雄・眞留実	（上西黒川）
立石常喜・美知子	（下西黒川）
齊藤泰治・民代	（乙姫）
髙本義人・サツキ	（乙姫）
村森知治・えつ子	（乙姫）
浜潔・幸子	（黒川千丁）
川藤裟一・イツ子	（枳）
坂梨畩勝・ミヨ子	（枳）
田島征三・八代美	（赤水）
西村芳文・安子	（赤水）
引地保善・靖子	（赤水）
坂梨鐵男・ノブエ	（狩尾1区）
竹森征男・敬子	（狩尾3区）
山本勇司・幾子	（狩尾3区）
家入照男・トシ子	（的石）
宮川畩一・幸代	（的石）
山本章夫・香代	（的石）
西村正敬・レイ子	（楢木野）
後藤美利・万枝	（赤仁田）
阿南輝和・りい子	（小園）
高日寒二・シゲ子	（大道）
岩下重德・茂子	（遊雀）
市原忠與・勝代	（中道）
武藤正二・キワ子	（中道）
楢木野信治・美津実	（仁田水）
佐藤高治・六代	（中江）

《行政区順、敬称略》

金婚夫婦氏名	行政区
木村義春・節子	（北2区）
藏原博敏・則子	（北2区）
笹原美則・トシ子	（北2区）
井野鐵男・やす子	（東2区）
井田森二・チサ子	（西2区）
岩下宗則・ツキ子	（西2区）
佐伯紀行・正子	（古神2区）
志賀与市・トシ子	（古神2区）
石橋博・テイ子	（古神3区）
古木幸治・春美	（古閑）
古閑征治・和代	（東仲町）
島田今朝興・信子	（西仲町）
石村輝治・輝子	（桜町）
井照男・洋子	（古城2区）
甲斐晴人・イチヨ	（古城3の1区）
渡邉力丸・由紀子	（古城5の2区）
山城今朝雄・雪江	（古城6区）
井島昭年・マチ子	（下西河原）
木村正・ますみ	（内牧1区）
樋口好廣・ミヤ子	（内牧1区）
三井友幸・まき子	（内牧1区）
森誠善・幸江	（内牧1区）
家入澄雄・絹代	（内牧2区）
髙宮勝紀・リエ子	（内牧2区）

8/25 被災地を涼しく

手作りのうちわや風鈴、応援フラッグ球磨村へ

うちわや風鈴、フラッグを作成した園児たち

熊本YMCA尾ケ石保育園の園児39人が、豪雨災害の被災者に向けて、うちわ100枚、風鈴20個、応援フラッグ3枚を作成しました。全国から届いた日用生活品や消毒用アルコール、マスク等と併せて、球磨村の保育園や避難所に届けられる予定です。

うちわや風鈴には園児の応援メッセージや絵が描かれています。久保園長は「九州北部豪雨や熊本地震の際の支援に対するお返しの気持ち。被災地では冷房がないところもあると聞いている。少しでも涼しさを感じてほしい」と話しました。

9/3 地方自治の発展に多大な貢献

元一の宮町長市原典太氏に旭日単光章

熊本市内の自宅にて

元一の宮町長の市原典太氏（熊本市東区）が、地方自治の発展に多大な貢献をしたとして旭日単光章を受章し、佐藤市長から伝達されました。

市原氏は、昭和63年4月に一の宮町長に就任し、2期8年にわたり町政の発展に献身しました。中でも平成2年7月に発生した豪雨災害では、人命救助や被災者支援など先頭に立って指揮を執り、早期復旧のために尽力しました。

市原氏は、「阿蘇のことは片時も忘れたことはありません。市民の皆さまのおかげです。心から感謝しています」と話しました。

9/1 火口の見学再開

噴火警戒レベル1に、立ち入り規制解除

見学が再開された中岳火口

阿蘇火山防災会議協議会は、阿蘇中岳第1火口の立ち入り規制を解除し、2019年4月以来、約1年4か月ぶりに火口見学が再開されました。

阿蘇中岳は火山活動が低下しているとして、8月下旬に気象庁により噴火警戒レベルが2から1に引き下げられていましたが、立ち入りの自主規制が続いていました。ガス検知器などの火口周辺の安全確認を経て、自主規制が解除されました。

再開初日から多くの観光客が訪れており、今後も阿蘇観光の目玉として期待されます。

ご寄付をいただきました

8/27 明治安田生命保険相互会社

261,400円

9/11 株式会社アイエスティー

マスク 3,000枚

9/13 抜穂祭が行われる

山田の献穀斎田で献上米を刈り取り

稲を刈り取る大田黒さん夫妻ら

献上米を刈り取る抜穂祭が山田の献穀斎田で行われました。献上米は、毎年11月23日に宮中行事として執り行われる新嘗祭にお供えされるものです。

台風10号の影響で1週間延期となり、稲への影響も心配されましたが、大きな被害もなく、献穀者の大田黒さん夫妻、佐藤市長、原山阿蘇農業協同組合長により刈り取りが行われました。

大田黒さん夫妻は「台風や病害虫にも負けずに立派に育ち安心した」と話しました。

今後も新嘗祭まで一連の神事が行われる予定です。

9/8 子どもたちを守れ

PTA 連絡協議会が登下校見守り研修会

決意表明を行う PTA 会長

阿蘇市PTA連絡協議会の主催により、登下校見守り研修会が内牧支所で開かれました。2学期になり登下校中の児童・生徒を狙った声掛け事案や暴行事件が多発していることを受け、阿蘇警察署などの関係機関への呼びかけにより開催されました。

研修会では不審者への対応方法等について紹介。最後に阿蘇市内の8つの小中学校全てのPTA会長が決意表明を行い、子どもたちを犯罪や災害から守っていくという強い意志が示されました。

9/15 宮沢先生に学ぶ

宮沢厚さんが阿蘇小で講演

講演を行う宮沢さん

カドリー・ドミニオンの宮沢厚園長が阿蘇小学校で講演を行いました。

講演では、「人生は自信をつけていく過程。みんなも必ず何かしらの才能がある。少しずつ自信をつけていってほしい」と話しました。講演後は児童の「パン君とプリンちゃんは今何をしているのか」「プリンちゃんは劇のリハーサルをするのか」といった質問に答えました。

児童は「動物たちが傷つかないように劇をするのはすごいと思いました」などと感想を話しました。

9/14 くまモン先生と体操

阿蘇小放課後子ども教室にくまモン登場

ラジオ体操を行うくまモンと阿蘇小の児童

阿蘇小学校の放課後子ども教室をくまモンが訪れ、児童といっしょに踊りました。

くまモンが先生となった教育活動の一環で、体を動かすことの楽しさや大切さを伝えることを目的に行われたものです。

くまモンは「かモン！くまモン！」の踊りを練習している児童の前にサプライズで登場。そのまま児童と一緒に同曲を含む3曲を踊りました。児童は、くまモンの動きに合わせて元気よく踊り、「くまモンと初めて会った。よかった。」「黒くて大きかった」と大喜びでした。